

平成30年度事業報告

I. 平成30年度の取り組み概要

これまで培った、九州イノベーション戦略会議（KICC：Kyushu Innovation Creative Conference）構成機関の広域連携体制の下で、開放試験研究機器等データベースの更新と活用を図るとともに、構成機関のコーディネータや企業の研究開発から販路拡大までを伴走して支援する成功報酬型コーディネータと連携して技術課題解決に対するソリューションを提供した。

また、WEB上で企業のニーズ（課題）とその解決に資するシーズとのマッチングや KICC の PR 等の広報活動を行った。

主な取り組みは、以下のとおりである。

1. 構成機関のネットワークの維持、継続
2. 開放試験研究機器等データベースの更新と活用促進
3. 企業の技術課題解決に資するワンストップサービスの推進
4. 成功報酬型コーディネータ事業の支援
5. オープンイノベーション・ソリューション・サイトの活用
6. 広報活動の実施
7. 企業のニーズ・シーズの収集とデータベース化及び大学・高専・公設試の技術シーズとの情報の共有
8. 各機関コーディネータのネットワークの構築とマッチング

II. 個別の取り組み

1. 構成機関のネットワークの維持、継続

(1) 通常総会及び特別講演会の開催

平成30年度の通常総会を開催し、平成29年度事業報告や平成30年度事業計画等に関して所要の審議を行った。また、通常総会終了後、特別講演会を行った。

① 通常総会

開催日：平成30年8月1日（水）

場 所：ハイアット リージェンシー 福岡（福岡市）

② 特別講演会

<基調講演>

・テーマ：大阪ガス株式会社のオープンイノベーション活動

・講 師：大阪ガス株式会社 イノベーション推進部 オープンイノベーション室
室長 樋口 裕思 氏

<特別講演①>

・テーマ：新たな産業自動化革命実現に向けた挑戦～I³-Mechatronics

- ・講 師：株式会社 安川電機 理事・営業本部産業調査室 室長 古瀬 利博 氏
 <特別講演②>
- ・テーマ：紫外線殺菌装置 エアロシールドにおける大企業との取組について
- ・講 師：エネフォレスト株式会社 代表取締役 木原 寿彦 氏
 (出席者：通常総会 49名、特別講演会 103名)

(2) 構成機関の関係者とのネットワークの維持継続

- ・本会議事業の推進と円滑な運営を図るため、14人で構成する幹事会を開催し、平成29年度事業報告及び平成30年度事業計画(案)等を審議した。
- ・会員機関の公募情報や取組みなどの情報発信を23件行った。
- ・なお、平成30年度末の本会議構成機関は63機関。

2. 開放試験研究機器等データベースの更新と活用促進

- ・九州の63の大学・高専、各県公設試、産業支援機関等が協力して整備した開放試験研究機器データベースの追加・更新を行うとともに、ホームページ等を通じたPR等を行った。
- ・平成30年度末の開放試験研究機器データベースの登録件数は1,800件。
- ・なお、公設試のデータの更新等は、九州地方知事会（工業系公設試連携事務局）の協力を得て実施した。

開放試験研究機器データベースの更新状況

機 関 名		H29年度 末登録件数	修正 件数	削除 件数	新規 件数	H30年度末 登録件数
公 設 試	福岡県	222	24	3	5	224
	佐賀県	178	140	2	14	190
	長崎県	155	97	12	2	145
	熊本県	187	135	2	0	185
	大分県	155	79	1	15	169
	宮崎県	171	171	0	11	182
	鹿児島県	124	120	4	2	122
	小 計	1,192	766	24	49	1,217
そ の 他	大 学	264	173	10	55	309
	高 専	50	27	2	0	48
	支援機関	236	151	15	0	221
	産総研	5	0	0	0	5
合 計		1,747	1,117	51	104	1,800

具体的な開放試験研究機器の事例

KICC 構成機関	開放試験研究機器	料 金
福岡県工業技術センター	工業量測定・試験機器：精密万能試験機	870円/時
佐賀県工業技術センター	乾燥機器：大型真空凍結乾燥機	1,340円/時
長崎県産業技術センター	クロマトグラフ：イオンクロマトグラフ	2,020円/時
大分県産業科学技術センター	産業部門別測定・試験機器：商用磁界試験器	440円/時

宮崎県工業技術センター	特殊実験室設備：電波暗室	2,025円/時
鹿児島県工業技術センター	分析・計測機器：炭素分測定装置	1,010円/時
九州工業大学	電磁気分析装置：X線回折装置	3,000円/回
宮崎大学	分析・計測機器：顕微ラマン分光装置	25,700円/回

3. 企業の技術課題解決に資するワンストップサービスの推進

(1) ワンストップサービスの推進

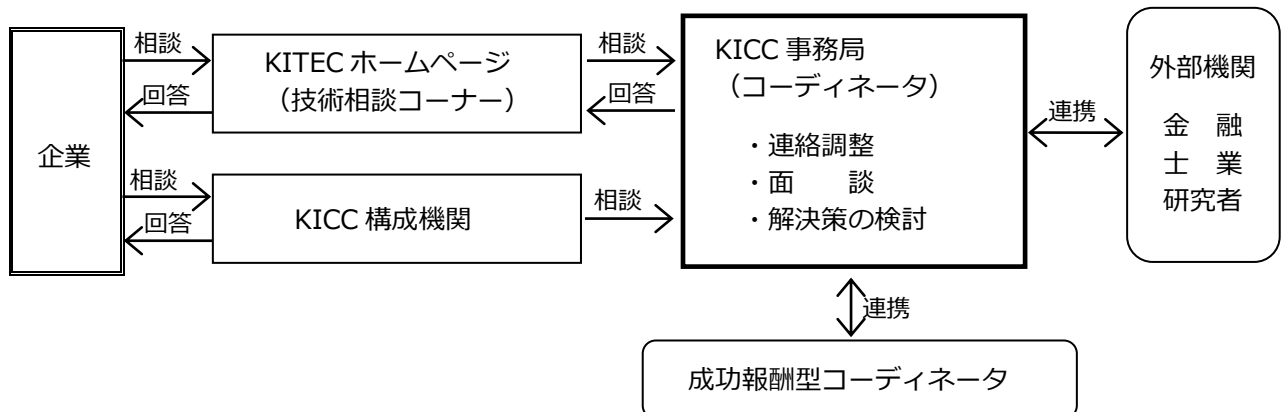
- ・技術相談について、(一財)九州産業技術センター（以下 KITEC と称す）及び国立研究開発法人 産業技術総合研究所九州センター（以下 AIST Kyushu と称す）のコーディネータ等によるワンストップサービスを実施した。

平成30年度の技術相談件数：計8件

相談企業の分野	・ナノテク・材料・製造分野： 3件 ・環境・エネルギー分野： 2件 ・情報・通信分野： 1件 ・その他機械工業： 2件
技術相談と成果	①福岡県のO社 ・防災対策のための土壌改良技術を活用した人工刃金土（鋼土）の開発 ・KITECが行う「ブラッシュアップ研究会」で検討し、サポイン事業 ^(注) の提案に繋がった。 ②福岡県のF社 ・石炭灰からの人口ゼオライト製造（従来方法より短時間で安価に製造） ・人工ゼオライトの想定ユーザーであるS社とマッチングを実施

(注) サポイン事業：経済産業省の戦略的基盤技術高度化支援事業で、サポーティングインダストリーを対象とした産学技術開発補助金（3年間、1億円の補助、補助率2/3）

技術相談ワンストップサービスの仕組み



(2) 構成機関との連携による技術相談等の実施

- ① 九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー事業
 - ・九州経済産業局と AIST Kyushu が主催、各県公設試共催で、構成機関の最新技術

- 情報を提供する「九州・沖縄 産業技術オープンイノベーションデー」を開催した。
- 産総研 九州センター・公設試の研究シーズや公設試・産総研の合同成果発表会及び技術・知財等の無料相談会を開催し、技術相談に対応した。

4. 成功報酬型コーディネータ事業の支援

(1) 概要

- KITEC では、中小企業の新製品・サービスやビジネスモデルの開発と事業化及び販路開拓や取引の拡大並びに技術開発や知財取得等を成功報酬型契約に基づき、伴走型で支援する「成功報酬型コーディネータ事業」を平成27年度から実施している。
- このコーディネータに対し、KICC の技術ニーズ・シーズを提供し、研究開発（技術の発掘、技術開発、試作品開発）、事業化計画（ビジネスモデル検討、事業計画作成、資金調達）及び販路拡大（マーケティング、マッチング）等のコーディネート活動を行った。

(2) 活動実績

- 2人の成功報酬型コーディネータが合計173件の研究開発、事業化計画の策定、販路拡大に関する支援を実施し、成功報酬型新規契約件数は7件に達した。

成功報酬型契約の概要

契約種別	支援事業	支援内容	成功報酬の概要
成功報酬型	技術開発・事業化	・試作品開発 ・資金調達 ・技術供与等	・開発費の5% ・調達資金の5% ・ロイヤリティーの5%
	新規事業・事業化	・外部資金導入 ・顧客開拓	・獲得資金の5% ・当該製品の売上げの5%
有償支援型	試作品・事業化	・デザイン、設計	・10万円/月のコーディネート料

5. オープンイノベーション・ソリューション・サイトの活用

- 九州や九州域外の企業の技術課題（ニーズ）を発掘し、KITEC のWEBサイト（オープンイノベーション・ソリューション・サイト）で公開した上で、その課題を解決するソリューションを有する企業等とのマッチングを支援した。
- 415件のニーズに対し97件のシーズ提案があり、66件のマッチングを行った。
- 大手企業が必要な技術や部材等のニーズを発表（オープン化）して、中小企業等の取引拡大等を支援する「技術ニーズ発表会」を開催した。九州の5機関からシーズ提案があり、3件のマッチングを行った。
- 九州サイトの活用を促進するため、九州地域未来牽引企業506社に対し、案内とチラシを送付した。

6. 広報活動の実施

- ・ K I C C の専用ホームページを通して、関連情報の提供、技術相談ワンストップサービスの紹介、開放試験研究機器や研究者情報等の広報活動を実施するとともに各種の機会を通して、K I C C の活動の PR に努めた。

7. 企業のニーズ・シーズの収集とデータベース化及び大学・高専・公設試の技術シーズとの情報の共有

- ・ 企業のニーズ（課題）と大学・高専・公設試及び企業等のシーズを繋ぐことによる取引の拡大や新商品・サービスの開発を通じたイノベーションを推進するため、その基盤となるニーズとシーズを収集し、共有を行った。

8. 各機関コーディネータのネットワークの構築とマッチング

- ・ K I C C 構成機関のコーディネータ・マネージャー等の連携・交流を図るため、プロフィール集を作成し、配布する。また、ホームページへの掲載を検討する予定。

Ⅲ. 予算額

- ・ 平成 3 0 年度は、通常総会及び特別講演会の開催費用、技術ニーズ説明会、K I C C 構成機関コーディネータプロフィール集の作成等として、1, 1 9 2 千円を支出した。

以 上